

平成 24 年 7 月 30 日受理
総務常任委員会付託

紹介議員 伊藤 浩之
溝口 民子
渡辺 博之

福島県内すべての原発の廃炉を求めることについて

請願要旨

東京電力第一原発事故は「人類がこれまで経験したことの無い未曾有のもの」（福島県復興計画の指摘）となりました。

放射能汚染は人々の生活を破壊し、仕事を奪い、家族を離散させ、子どもから学校も遊び場までも奪い、広く 200 万福島県民に健康不安をもたらし続けています。また、県内全産業、あらゆる部門にも大打撃をもたらし、被害は 1 年以上たっても今なお、解決の見通しがたっていません。

このような深刻な被害を、二度と繰り返すことのない福島県を作っていくために、福島県議会は「福島第一原発と第二原発を廃炉にする」請願を採択し、これを受けて知事も 10 基の廃炉を目指す意思を明確に表明しました。

県内の議会では、郡山市、福島市、会津若松市、須賀川市、南相馬市、伊達市、二本松市、喜多方市、田村市、本宮市、相馬市、白河市などをはじめ 46 市町村議会も 10 基の廃炉を求める決議や意見書を採択しています。（13 市の中では、いわき市だけが否決をしております。）

事故時に 30 km 圏内に入った久之浜町ではほとんどの方が避難し、10 万人近くの市民が一時避難したのではないかと見られます。また、危険な街と見られてあらゆる物資が入って来なくなった体験を持ついわき市で、今日まで市議会として 10 基の廃炉を求めています。

私たちは市民等の署名を添えて、福島県内すべての原発を廃炉にする意思表明をすることを要請いたします。

請願事項

- 1 福島第一原発と第二原発は廃炉をすることを、いわき市民の総意として意思表明をすること。

請願者

いわき市内郷御厩町三丁目 101 番地

いわき教育会館内

原発事故の完全賠償をさせる会

代表

伊 東 達 也

佐 藤 三 男

菅 波 好 恵

早 川 篤 雄

矢 吹 道 徳

外 18 団体

外 11, 166 人